


事業番号	04 07 01	事業改善シート(令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	高等教育振興事業費	部局	県民文化部	課・室	高等教育振興課
		実施期間	H26 ~	E-mail	<a href="mailto:koto-shin@pref.nagano.lg.jp">koto-shin@pref.nagano.lg.jp</a>
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	③人口の社会増を実現				
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり      2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保				

## 1 現状と課題

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>信州高等教育支援センターが中心となり、県内高等教育機関の魅力を高め、県内外へ発信するとともに、産学官連携による人材の育成・定着を推進することで、「郷学郷就」の県づくりを進める。</li> <li>また、県内高等教育機関と地域の企業や研究機関、市町村などと連携して学びの場の提供や地域づくりを推進する。</li> </ul>	
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年5月に「長野県高等教育振興基本方針」を策定。県内大学の学部新設などを支援し、県内高校生の卒業後の選択肢を拡充。</li> <li>新聞広告やSNS活用などにより、高校生に向けて、県内の大学及び短期大学の魅力を情報発信。</li> <li>産学官連携インターンシップに係る学生と企業のマッチングを行い、学生の就業意識の醸成及び県内定着を促進。</li> <li>県内大学の連携組織「高等教育コンソーシアム信州」による人材育成などの取組に助成し、高等教育機関を核とした地域づくりを推進。</li> <li>大学など高等教育機関を対象に、社会人の主体的な学び直しのための補助制度を創設し、講座の開設を支援。</li> </ul>	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内大学の魅力をより効果的、かつ、広範に周知するための手段を研究し、実施する必要がある。</li> <li>産学官連携インターンシップ事業への学生及び企業の参加数を増やすとともに、企業に対しては、学生とのマッチング率を高める必要がある。</li> <li>社会人の学び直しの受け皿を拡充する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内大学で学ぶ魅力を分かりやすくPRするため、視覚的に理解できる動画を制作・配信すること等により情報発信の強化を図る。</li> <li>大学や企業への訪問などにより、インターンシップ事業の周知を強化するとともに、プログラム内容の改善などの支援や学生ガイダンスの開催により、学生と企業の参加数やマッチング数の増加を図る。</li> <li>社会人のニーズと大学の教育・研究シーズが合致したリカレント教育講座の開設を支援していく。</li> </ul>

## 2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>県内大学等の魅力を発信</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生が大学等へ入学後のキャンパスライフをイメージできるようなプロモーションビデオを制作・公開</li> <li>在学生や卒業生による県内11大学8短期大学の魅力紹介などを集録した冊子を制作・配布</li> </ul> </li> <li>✓ <b>県内外の大学生及び短大生のインターンシップを支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内及び海外事業所におけるインターンシップについて、参加を希望する学生と企業をマッチング</li> <li>海外事業所におけるインターンシップの参加学生に参加経費を補助</li> <li>プログラム内容を充実するため、企業の課題解決型(企業への提案型)インターンシップの導入を支援</li> </ul> </li> <li>✓ <b>社会人向けリカレント教育講座の開設を支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学など高等教育機関を対象に、社会人向けリカレント教育講座の開設経費を補助</li> </ul> </li> </ul>	 <p>県内の大学・短大の魅力を発信</p>
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	<b>【学びの県づくり】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会人向けリカレント教育講座を開設する大学などを支援し、社会人の主体的な学び直しを場の拡充</li> <li>産学官連携インターンシップ事業の実施により、学生のキャリア形成を支援</li> </ul>	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	県内大学の収容力	%	19.4	↑	20.7		集計中(R4.7予定)	維持向上
2	県内大学の志願者数	人	16,679	↓	15,448		集計中(R4.7予定)	維持向上
3	県内大学生のインターンシップ参加率	%	35.2	↓	22.7		集計中(R4.7予定)	41.0
4	県補助金によるリカレント講座の受講者数	人	—	—	—		10(見込)	30
5	県内大学卒業生の県内就職率	%	56.2	↓	50.0		集計中(R4.7予定)	65.0

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	
	前年度繰越	8,042	0		
予算額	当初予算	568,256	15,278	要求	16,023
	補正予算	-3,200	0	予算案	
	合計(A)	573,098	15,278	要求	16,023
うち一般財源	うち一般財源	568,439	9,118	要求	8,509
	決算額(B)	569,961		予算案	
職員数(人)		5.0	5.0		5.0

設定理由	成果指標	<ol style="list-style-type: none"> <li>高校卒業生数に対する県内大学の学生受入能力を把握するため設定</li> <li>県内大学の魅力向上度を把握するため設定</li> <li>県内大学生の就業意欲を把握するため設定</li> <li>社会人の学び直し場の拡充支援事業の効果を測定するため設定</li> <li>県内大学卒業生の県内定着の状況を把握するため設定</li> </ol>
	目標値	<ol style="list-style-type: none"> <li>県内大学全体で前年度以上の入学者を受け入れていることを目標としている。</li> <li>県内大学の魅力が高校生に伝わり、志願者数が増加することを目標としている。</li> <li>令和元年度から3年度までの「地方創生に向けた産業・地域を支える担い手づくり推進計画(内閣府)」における最終目標値を継続して達成することを目標としている。</li> <li>令和3年度から5年度までの「ライフステージに応じた学びの基盤づくりによる産業人材育成事業推進計画(内閣府)」における令和4年度の目標値としている。</li> <li>県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」関連目標における令和4年度の目標値としている。</li> </ol>

事業番号	04 07 01	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	高等教育振興事業費		部局	県民文化部	課・室	高等教育振興課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	高等教育振興費	568,256 千円	15,278 千円	要求 予算案 16,023 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	県内大学等の魅力発信	委託	県内大学等の魅力に関する、高校生に向けたプロモーションビデオの制作・公開及び冊子の制作・配布 【委託先:民間事業者】		
2	学生インターンシップの支援	直接 補助金	県内及び海外事業所におけるインターンシップについて、学生と企業のマッチングを行うとともに、海外事業所におけるインターンシップに参加する学生に参加経費の一部を補助 【補助金交付先:海外インターンシップに参加する県内学生】		
3	県内大学連携事業補助金	補助金	県内大学の連携組織「高等教育コンソーシアム信州」による大学の人材育成や学生の県内定着に向けた取組を支援 【補助金交付先:高等教育コンソーシアム信州】		
4	社会人向けリカレント教育講座の開設支援	補助金	県内大学等による社会人向けリカレント教育講座の開設を支援 【補助金交付先:県内に所在する大学等の設置者等】		